

「田之浦小学校の田之浦山宮神社神楽舞の伝承活動の取組」

1 学校名

志布志市立田之浦小学校

2 学年・人数

小学1年生から6年生（計32人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年6月末～7月末（本校体育館・田之浦ふるさと交流館舞台）

令和4年10月～11月（本校体育館・田之浦ふるさと交流館舞台）

(2) 発表の日時・場所

令和4年7月 田之浦山宮神社夏祭り（田之浦ふるさと交流館）【中止】

令和4年11月26日（土）夜神楽（田之浦ふるさと交流館）

令和5年2月5日（日）ダゴ祭り（田之浦山宮神社）【中止】

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称：田之浦山宮神社神楽舞（たのうらやまみやじんじゃかぐらまい）

(2) 由来

神舞は、ダゴの奉納とともに古くから行われてきた春祭の行事で、昭和17年の奉納を最後に長い間途絶えていた。昭和57年に神楽保存会が組織され、翌58年2月の春祭に神舞が復活し、12段が奉納された。宮地集落の精米所で焚き火をしながら先輩方の指導により夜遅くまで練習を重ねた。宮崎県の高千穂神楽等の研修も行い、復活した。校区の方々へ披露するために集落持ち回りの夜神楽を行っていたが、平成10年から、現在25段を2年に一度の夜神楽で奉納している。ダゴ祭りの時には、5段の舞を山宮神社特設ステージで奉納し、その後、ダゴ花取りが行われる。

(3) 構成等

現在、継承されている25段の舞は一つ一つの舞が異なり、舞人も小学生から70歳代までと幅も広い。舞によって人数も異なり、1～12人の舞までである。舞人・楽部令人を合わせれば総勢50人程になる。また、ダゴ祭りの際の「ダゴ花」は集落単位で作成され、祭り当日の朝、神社に奉納する。学校でも1本作成している。

5 保存会や地域との連携の具体

神舞は構成等が多種多様で、現在は保存会を中心とした取組になっている。児童生徒、保護者を含め学校や地域の協力のもと、地域ぐるみで実施されている。本校在籍であれば舞うことができるということで、保護者や祖父母も経験者として、子や孫たちに励ましの言葉を掛けている。現在、校区外から通学する特認校生も重要な担い手として活躍している。また、夕方や土曜日の練習となるが、保護者も積極的に協力し、衣装の着付け等も保存会の方々と共にやっている。2年に一度の夜神楽は、午後4時から午後10時頃になるため、夜食の準備等は地域ぐるみで行っている。

ダゴ祭りでは、開催数日前に、高齢者の方々の指導を受けて竹串（ひらひら）作りとダゴ作りを行い、ダゴ花を作成している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

田之浦神楽保存会の指導者と連携を取り，練習日や祭り当日の日程について，学校から保護者への連絡体制を取っている。予算面では，神楽保存会や田之浦校区青少年育成会から支援を受けている。また，生きがい大学や長寿会等，地域の高齢者の指導を受け，ひらひら作りとダゴ作りも行っている。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



神楽切り絵作成（保護者）



神楽練習



神楽着付け練習



夜神楽

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

田之浦の伝統行事である「夜神楽」の舞台に立てたことは一生の思い出になりました。保存会の方が演奏する笛や太鼓の音に合わせて，何度も練習を重ねたことを意識しながら舞うことができました。舞の最中も，熱心に指導して下さった地域の指導者の方の教えを胸に丁寧に舞うことを心掛けました。友達の舞も本当に素晴らしくて感動しました。見に来てくれた家族，会場の地域の方もすごく喜んでくれたので，よい経験ができました。

【保護者】

子どもが田之浦小学校に行きたい理由の一つが，子ども神楽でした。親としても子どもが神楽を舞うのを楽しみにしていました。しかし，新型コロナウイルス感染症の影響で夏祭りでの神楽の披露が中止になり，親子共々残念に思っていました。11月の夜神楽では，神楽保存会のおかげで，子どもの神楽を見ることができました。神秘的，幻想的で本当に感動しました。また，このような素晴らしい体験をできたことは，子どもにとっても一生の思い出となります。本当にありがとうございました。

【保存会】

新型コロナウイルス感染症の影響で，昨年度実施予定の夜神楽が今年度に延期になり，保存会としては，何とか子どもたちに舞う機会を作ってあげたいとの願いがあった。学校と協力し夜神楽を盛大に開催できたことは本当によかった。